

なぜキャンプなの？

アメリカとフィリピンのサマーキャンプ支援受付中。

スマホでのお申込はこちらから⇒
PCからは、



<https://metroworldchild.jp/summer-camp/>

名もない少年が、イエス様に会うのを 手助けしていただけませんか？

あなたがしてくださることは、永遠の違いを生みます。

バヤニのようなフィリピンの貧しい少年にとって、キャンプの1日がどのようなものか想像してみてください。彼は両親を知らず、出生証明書も姓もありません。バヤニの家族との一番古い記憶は、しばらくの間、叔父といとこたちと一緒に住んでいた時のことですが、虐待されて逃げ出したのです。このおどおどした少年は、あるゴミ拾いの人がバヤニに盗みを教えるために連れて行く日まで、路上で生活していました。昨年9月、タラという女性が介入して、バヤニを彼女の小さな家に連れて帰りました。彼女は3人の子を持つ母親ですが、バヤニには絶対に助けと保護が必要であることがわかったからです。バヤニは学校に行ったことはありませんが、昨年道端日曜学校に通い始め、メッセージと礼拝の時間を楽しんでいます。家も名前も希望もないこの少年は、人々が気遣ってくれていること、自分には、自分を愛してくれる天の父がいることを学んでいます。

今日のあなたのご支援により、バヤニのような子どもたちにキャンプの一日を現実のものにすることができます。助けを必要としている子どもたちのためにキャンプの費用を支援するために、友人、同僚、または他のグループに協力を求めることもできると思います。あなたがしてくださることはどんなことでも、永遠の違いを生むでしょう。この子たちを気遣ってくれてありがとう！

重要な時。

サマーキャンプは、私にとって非常に重要な活動です。教会のキャンプで、イエス様が、祭壇の前にいる誰からも望まれない吃音でやせっぽちの12歳の少年に出会って、私の人生の流れを永遠に変えてしまいました。

フロリダの街角に三日三晩置き去りにされた後、デビッド・ルデニスという男性が、私が助けを必要としていることに気づきました。彼は、サマーキャンプに私を送る費用の17ドル50セントさえも借りなければならない状態でした。彼はその時、現在メトロの働きが世界中で何十万人もの子どもたちにおよぶきっかけを作ることになるなど想像もできませんでした。ただ、一人ぼっちの子どもを助けようと決心しただけだったのです。

メトロのサマーキャンプがもうすぐです。ニューヨーク、フィリピンなどには、何千人もの子どもたちがいて、私たちのキャンプ体験によって人生を変える機会を与えるために、あなたのような支援者を必要としています。これは彼らの人生にとって非常に重要な時であり、キャンプは私たちの最も効果的な活動の1つです。今日、どの子どもの人生を変えることができるでしょうか？

あなたができることは何でも、永続的な違いを生むでしょう。

*プライバシー保護のため、写真と記事は直接関係ないものを使用しています。

アメリカ&フィリピンキャンプ支援

お申し込み締め切り5月25日(木)

今月の引き落とし日！5月16日(火)です。

! 引き落とし日変更は延期になりました！

今月号の目次

P2…子どもたちの現状／スポンサー募集

P3～4…フィリピン・現地ツアー報告と参加者からのレポート

P5…子どもの証し／偽サイトのご注意

P6…日本事務所からの重要なお知らせ

土曜日は学校がないの？

あなたが心と身体に命の栄養を分け与えてくれているのです

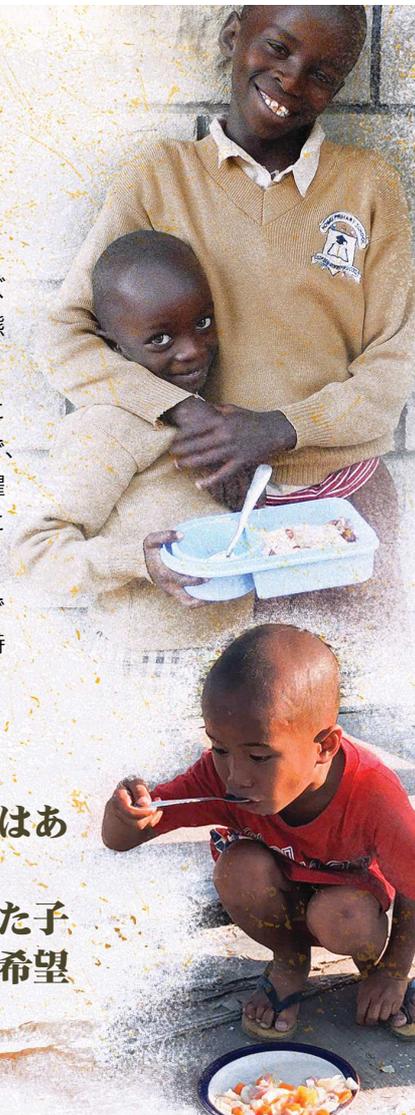
ジャヒと兄のヤロにとって、人生はつらいものでしかありませんでした。2020年に母親がエイズで亡くなった後、二人は父親に預けられましたが、父親は病弱で働けませんでした。そこから事態はどんどん悪化していったのです。

二人はいつも空腹で、学校で給食を食べるお金もないので勉強も手につきません。ジャヒの様子に気づいた給食の調理員が、わずかな量ながら給食の残りをこっそり分けてくれるようになったので、命をつなぐことができました。空腹で切羽詰まっていたジャヒは「少しでも何か食べたい」と土曜日にも歩いて学校に行ったのですが、週末は学校が休みなので警備員がいただけで、手ぶらで家に帰るしかありませんでした。

最近、優しいスポンサーが、ジャヒの支援を始めてくれました！それでジャヒは今、毎日学校で温かい給食をたっぷり食べることができます。そのスポンサーは、ジャヒと家族のために祈り、特別な食料品セットも送ってくれて、本人だけでなく家族も助けられています。

命を救う働きを実現してくださっている、すべてのスポンサーの皆さん、ありがとうございます！

この子たちに足りないのは食べ物だけではありません…希望が必要なのです。あなたのご支援が、食べ物と希望に飢えた子どもたちに、栄養豊かな食べ物と永遠の希望を与える働きにつながります！



常にスポンサー募集中です。

メトロの働きは、世界中で拡大し続けています

ご存知のように、メトロの働きは世界各地で急速に拡大しています。アフリカではケニアと南アフリカから近隣の国々に広がり続けています。中南米や、東欧、インドなどでも拠点が増え続けています。

驚くことに、キリスト教国でない国々にも、メトロの教会学校のプログラムが、公立学校の授業の一部として採用され始めているのです。

もちろん、メトロの働きと協力すれば、学校の給食を食べられる子どもが増えるというのは大きな理由でしょう。しかし、ほかの宗教を国境に定めている国で、キリスト教を土台とする教育を子どもたちに施すことを公立の小学校で容認するなど、今までは考えられないことでした。今まで迫害を受けながら、目を付けられないように工夫し忍耐強く働きを進めていた場所でも、同じようなチャンスが与えられ、扉は次々と開かれています。

そのような国では、1拠点増えるだけで、100人から千人規模で関わる子どもの数が増えていきます。4月末には、メトロの活動は20ヶ国以上になり、メトロの教会学校に参加した子どもの数は317,414人を記録しました。それだけイエス様の救いを伝えるチャンスも増えているのです。指導者の養成も急務で、メトロのスタッフは、世界各地にスタッフ養成のためのトレーニングに出かけ、今まで以上に多忙な毎日になっています。皆様のご支援とお祈りに感謝します。

そして同時に、支援を必要とする子どもたちも増え続けています。ご支援に賛同して下さる方が起こされるようにお祈りとお協力をお願いいたします。



メトロでは、常時スポンサーを募集しています。支援にご興味のある方がいらっしゃいましたら、左のQRコードまたは、以下のアドレスからお申し込みをお願いします。 <https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>

現地視察ツアー再開しました！



長期のコロナによる制限が緩和されてきましたので、4月中旬にフィリピンツアーを4年ぶりに再開しました。メトロフィリピンの現地ツアーに、万代牧師を含む10名が参加されました。全員無事に帰国され、大変恵まれたツアーとなりました。フィリピンツアーに行かれた方々のご感想をお届けします。

フィリピンは、コロナ対策として厳しいロックダウン政策をとったため、3年もの間、人々はほとんど外出することが許されませんでした。買い物も決まった曜日に家族のうち、ひとりだけが発行されたIDカードを持って出かけることができるだけで、これ以外に無断で外出すると、取り締まりの警官に捕まる状況でした。

そのため、フィリピンの子どもたちはずっと家から出ることができませんでした。学校もオンライン授業か、オンライン環境のない家庭は、親が学校に学習用のプリントを取りに行き、そのプリントでの自宅学習でした。メトロに関わる子どもたちの多くは、オンライン環境がなく、年上の子どもたちは、子どもの世話に追われて学力的にも著しく低下してしまったのです。

メトロの日曜学校は、オンラインが使える子どもだけが参加できる状態が続き、スタッフとの直接の関わりも持つことができませんでした。スポンサーからのプレゼントも、メトロのスタッフが外出許可の下りた日時だけ出かけ、子どもたちの家の外のドアの前にプレゼントを置いて、外から声をかけ、窓から顔を見られるかどうかという大変な状況でした。

現地に行って状況が理解できたのですが、人々の生活は困窮し、メトロのスタッフも活動ができないために海外から来ていたスタッフは、やむなく帰国したり、生活のためにメトロを離れなければならないようになったりしたそうです。

今年に入り、ようやく人数制限付きでの日曜学校開催ができる



ようになり、今ではほぼ以前と同じ活動ができる状態ですが、今度は、スタッフがいない上に、新しいスタッフの養成もできていないため、残っていたスタッフだけで活動を再開し、大変な状況に陥っていました。3年間のダメージは非常に大きかったようです。そのことも踏まえて、このレポートをお読みいただければ、さらに状況がご理解いただけると思います。

佐藤麗子様

2度目のフィリピン

2023年4月13日～16日の日程で、フィリピンのメトロ視察ツアーが再開されました。2018年11月末から4年半振りのフィリピン♥

最初に、空港に迎えに来てくれたスタッフの車で、フィリピン・メトロの本部に行きました。そこで出会ったのは、見覚えのある笑顔。それは4年半前、まだスタッフではなかったけど、一生懸命スタッフの手伝いをしていた女の子の成長した姿でした。



2019年12月に中国で1例目の感染者が報告されてから半年後には世界中に広がったコロナの影響は、大きいものでした。活動が制限され続けた中で、中心になって活動されていたスタッフが、生活のためメトロから離れて行きました。そんな中で、新しいスタッフが生まれ成長を遂げている姿に、感動と大きな喜びを感じました。そして、私たちを温かい笑顔で迎えてくれたメトロの指導者たちが、どれほど忍耐と努力を重ねてきたか、頭の下がる思いでした。

気になったのは機材の劣化、子どもたちが座るシートが、当時はきちんとしたブルーシートだったのに、ブルーの防水部分が剥がれて、ハーフホワイトシートに(笑)。1日に3～4回場所を移動して繰り返される教会学校の活動。どれほど何回も何回も広げては畳んで移動が繰り返されてきたのかと、その活動の証しが目の前に広げられたと感じました。ぜひぜひ、ブルーシートの新しいものを寄付できるように、みなさんにもお声がけをして、頑張ろうと思いました。

2日目、私たちは3つのグループに分かれて、自分が支援している子どもたちに会いに行きました。



私が最初のフィリピンで会った、5年ちょっと支援していた子は、急に引っ越してしまったため、別の子どもに変わったばかりで、また初の面談に少々緊張でした。7歳の女の子と25歳のお母さん。私にとっては、そのお母さんでさえ、孫の様な存在で、7歳の子どもはひ孫♥愛おしさと痛々しさの中、最初は心がざわめきました。スーパーでの買い物、ファーストフードレストランのジョリビーでの食事が、その緊張を少しずつほぐしてくれました。

日本語から英語、そしてタガログ語にまた英語にそして日本語に、最初はお手伝いをお願いしていた会話で少しずつ彼女たちの状況を知り心が通い始めました。私の片言の英語に7歳の子が英語で答えたり、翻訳機を駆使したりしながら、3人だけでの会話も弾みました。

別れの時間が迫り、2人のためにそして家族のためにお祈りしながら声が詰まり、溢れる涙に、できる限りのことをしてあげたいという思いが募りました。そして、また会いに来ようと思いました。

両手に買い物袋をぶら下げて去って行く2人の後ろ姿を目に焼き付けつつ、面談の時は過ぎていきました。

近藤千絵様

神様の愛が実感できるように祈っています

今回6年ぶり、2度目のフィリピンツアーに参加できて感謝しています。この間にスポンサーチャイルドが変更になり、新しいチャイルドのマット君(10歳)と面会するのが主な目的でした。

待ち合わせのショッピングセンターでの対面の時はとてもエキサイティングなものでした。マット君は事前に送ってあった私の顔写真を手に握り、おそらくこの日のために1番上等な服を着せてもらい、お母さんと笑顔いっぱい待っていてくれました。私もメトロから送付されていたマット君の写真を眺めながら毎朝祈りに覚えていたのですぐにわかり抱き合って対面を喜び合いました。

マット君は10歳の割には小柄ですが、たくさんの愛情の中でしっかりと躰をされているのがすぐにわかる振る舞いで感心しました。これもメトロ道端教会学校で学んでいる事が身に付いているのでしょう。(メトロでは聖書の教えはもちろんですが、人の話の聞き方や態度も厳しく指導されます。)

親子にとって人生初めてのショッピングセンター(日本の

イオンモールのようなところ)にスタッフと一緒に入りました。入口にはセキュリティの方がいて1人1人持ち物などをチェックされるので誰でも入店できるわけではありません。おそらく支払いができないと思われる人は入店すらできないのでしょうか。スーパーでのマット君は無邪気な男の子に戻り沢山のお菓子の並ぶ通路で目を輝かせながらお菓子を選んでいました。一緒に住んでいるいとこたちと一緒に食べるのですって。いとこたち?ん?私ははっきり両親と3人で暮らしているのかと思っていたのです…いただいていた情報だと3人家族でしたから。

実は“お母さん”は本当の母親ではありませんでした。実の母親はマット君が赤ちゃんの時に居なくなり帰って来なかったのが引き取ったのだそうです。そして“お母さん”の2人の弟にも何人もの子どもがいるのですが、やはり母親たちは失踪子どもたちが残されたのです。そして“お母さん”はたくさん子どもたちの母親として全員の面倒を見ているのです。子どもたちも事実は知っているとの事です。このような複雑な環境は、やはり貧困ゆえのものなのかもしれません。どうか子どもたちが産みの母親に捨てられるという想像を絶する人生を経験していても、天の父なる神様から本当の家族として愛されている事、守られている事を実感できるようにと祈っています。



ビル先生も子どもの頃母親に捨てられました。しかしその経験から彼のメトロの働きが始まり、今や世界中で毎週20万人以上の子どもたちに福音と希望を伝えています。マット君が将来次の“ビル先生”になるかもしれません!今のママも日本のママ(ババ?)もマット君が大好きです!とってもハンサムな男の子だと思いますか?成長が本当に楽しみです。

「たとい母親が乳飲み子を忘れるようなことがあっても、神はその子を決して忘れることはない。」(イザヤ 49:15)



これからも、できるだけ現地視察ツアーを続けていきたいと思っておりますので、チャンスがあるときにすぐに参加できるよう、十分に備えをしておいてください。

メトロ・スタッフと共に行動し、その働きを実際に体験することができますし、ご支援いただいている子どもと直接会える貴重な機会です。休みを取ってでも参加する価値のあるツアーです。

メトロのスタッフが地域の人々と深い関わりを持ち、長年関わって働きが認められていますので、一般の旅行では絶対に立ち入ることのできない場所や、現地の人々も行ったことのない地域を訪問することができます。ご期待ください。



メトロは、私の人生を 本当に変えました。

ご支援により、子どもたちの人生は劇的に変化しています

以前私が住んでいた、カクマという地域での生活は、普通じゃありませんでした。と言うのは、あなただってきつとそこに行けば、外出するのはとっても怖いと思いますよ。周りの人たちは、人の命なんて何とも思っていないので、簡単に殺されてしまうの。

そこに行ったら、人が殺されるのをすぐに目撃しますよ。子どもや、貧しい人たちが殺されてるんです。

私がこの学校に来た時、メトロが教えてくれたんです。より良い人になるということ。メトロのスタッフは、本当に私の人生を変えてくれました。

カクマにいた時、私はとてもだらしのない子でした。でもメトロを知って、私の生き方はとっても変えられました。そして今、私は、よい子です。

— 日曜学校で、神様について、どんなことを学びますか？

学んだ中で一番大切なことは、神様が私を愛しておられるということです。神様は、私がどこにいようと、本当に私を愛してください。カクマにいた時、あらゆる困難を経験しましたが、神様はいつも私と一緒にいてくださったんです。神様は、とっても私を愛してるんです。

— ありがとう。最後に、教会学校での一番の思い出は何？

私の好きだったのは、ゲームです。いつもメトロの先生と遊んでました。メトロの先生は、毎年12月には、ここでクリスマスプレゼントを配って、暗唱する聖書の箇所を教えてください。先生たちはいつも私たちに、悪い思いは、あなたを傷つけるだけだと教えてくれました。もし神様が、将来私に南スーダンに帰るチャンスを与えてくださったら、悪い思いは、良くないということをおみんなに教えます。

— ありがとう。

こちらから動画をご覧いただけます



偽者にご用心！



メトロ・ワールド・チャイルドの創立者である、ビル・ウィルソン師になりすました偽の SNS アカウントが、常に発生していますのでご注意ください。

偽アカウントは、ビル師の本物の Facebook ページから写真や記事をコピーして掲載しているため、偽物とは気づきません。

以下の SNS 以外は、すべて偽物とってください。

ビル師は、献金を要求したり、個人的に話をするのはごさいません。日本事務所以外の口座への送金をしたり、個人情報をお伝えたりしないでください。

メトロをサポートして下さる皆様の安全を守るため、ほかのアカウントからの連絡には、友だち承認や返事は絶対にしないでください。

ビル師の正しい Facebook はこちら⇒

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>



名前にハイフンを入れて本物と同じに作られています。



Pastor-Bill Wilson

The Nehemiah Boot Camp (8/24-12/19). Find out why you should be there.

♥ Pastor Bill's only F

これもニセモノです！

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 10月から変わります！

現在口座引き落としをご利用いただいています皆様へ、**重要なお知らせ**がございます。

先月お知らせしていましたが変更は、業者の準備がまだ終わっていないことが分かり、延期となりました。お騒がせして申し訳ございません。

引き落とし日の変更は、**10月以降**になる見込みですので、再度ご報告いたします。

それまでは、**今まで通り毎月16日**ですので、よろしくお申し上げます。

特に今月は、学習支援やキャンプ代など、大幅に引き落とし金額が上がっている皆さんがいらっしゃいますので、どうぞ15日までに残高をご確認ください。

！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお申しいたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを提案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



インターンシップ制度

メトロのNY本部とフィリピン、ケニアの事務所では、各国から集まってくる、教会奉仕者を目指す人々に、教会学校のスタッフとしての学びと現場の活動に直接関わって学ぶことのできるインターンシップ制度を準備しています。

コロナ禍で日本からの出入国が難しく、3年以上ご案内しておりませんでした。海外では制限が大幅に緩和されていますので、すでに本格的に再開されています。

今回の受付は、今年の初夏と来年の春になります。ご興味のある方は、ビザの取得も必要になりますので、早めに日本事務所にお問い合わせください。英語での学びとなりますので、申込やオンライン面接も全て英語で行われます。

日本事務所よりごあいさつ！

4月にフィリピンツアーを開催できましたことを心から感謝しています。アメリカや可能ならケニアにもツアーができればと願っています。その時にはぜひご参加ください。航空券代など旅費は、コロナ以前よりも随分高くなっていますので、そのつもりで準備をお願いします。

ビル先生からは、1年半前からずっとセミナーの開催日の問合せがきています。日本だけが再開できずにいますので、5月8日以降コロナ対策の緩和後の皆様の状況を見ながら、タイミングを見て計画していきたいと思っています。ビル先生のスケジュールとの調整や、会場の準備、広報にも時間がかかりますので、早くても秋以降、おそらくは来年になるのではないかと考えています。セミナー開催の時には、最優先でご参加ください。

恵み豊かな初夏の日々となりますようお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン